



ぼらんていあ通信

1月号
通巻 No.482

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2022年1月25日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <http://sagamiva.info/>



会長 高橋 功

新年明けましておめでとうございます。皆様、素晴らしい新年を迎えられた事と思います。相模原市にとって春から縁起が良いなと思っただのは、新春箱根大学駅伝で青山学院大学が往・復・総合で完全優勝した事です。ただ、一昨年から続いているコロナウイルス感染症のオミクロン株が拡大し始め、沖縄、山口、広島は「まん延防止等重点措置」を適用され、東京都や大阪府そしてその周辺の県も色々と検討し始めています。

2021年度のボランティア協会の事業は、「まん延防止等」と「緊急事態宣言」の繰り返して理事会や委員会を中止したり2000M会議にしたりして切り抜けました。ただ、総会だけは「まん防」期間中にも拘らず、会員の皆さんには書面決議をお願いし、開催する事が出来ました。各事業「HC活動」、「傾聴活動」、「事務局」については「コロナフロン」2回接種者に限定し活動しました。

「講座」については、夏の講座は中止し、春講座は相模原市が進める「だれ一人取り残さない持続可能な社会の形成を目指す」SD

Gs推進に賛同し、SDGsパートナー登録を申請し3月18日「SDGs」ボランティア活動」と題しSDGs推進室の講演、その3の活動団体の講話やHC、傾聴活動者の講話をお願いしボランティアの募集をする予定です。

なお、SDGsパートナー登録証書の交付式が1月27日市役所にて行われます。

「交流事業」については、「桜まつり」は中止、「ほかほかふれあいフェスタ」は10月にあじさい会館ロビーでの展示だけとし、11月の障害者週刊キャンペーンは実施しました。2月12日予定のボウリング大会はオミクロン株の増加などにより中止となりました。

「広報委員会」の「ぼらんていあ通信」、「ホームページ」は毎月発行し活動しています。ぼらんていあ通信には若者サポートステーションの協力を得ています。

「転倒防止」「住まい探し」「就労支援」「切手などの募金活動」「黄色いシートキャンペーン」等が必要に応じて活動しました。

「総会企画委員会」について2021年は休止していましたが、1月15日「理事会、DVD制作実行委員会」と合同で委員会を開催し、40周年記念誌の作成（2021年度中の完成）やボラ協の役割や将来について検討していきます。

2022年度は桜まつり祭り、ほかほかふれあいフェスタやボウリング大会が久しぶりに行われる予定です。そして従来の事業についても精力的に活動していきます。

特に「講座」については、夏講座などのような形で開催するか？ 旧実行委員会では出来ないのではないか？と悩むのかな？「講座検討委員会」でボラ協の役割は何かをめぐり検討し実施していきたいと思っております。

最後になりますが、皆様の「ご多幸をお祈りすると共に皆様の「ご活躍」に協力をお願いします。（1月17日）

同封物について

*会員の皆さんには「オミクロン株感染拡大」の中で活動について「お願い」を別紙にて同封しています。「ご覧になってください。」

*春の講座として「ボランティア見本市 Part 1」新しいボランティアのかたちを開催予定です。詳細は同封のチラシをご覧ください。（講座検討委員会の「お送りしている封筒には」がみなさんのDgsパートナー」のシールを貼付しています。

ボランティア協会のホームページは下記のQRコードを読み取るとご覧出来ます。カラー版のぼらんていあ通信もアップしています。



おなかま

新委員の紹介

昨年協会に入会され、年末頃からハンディキャブ運転の活動を始めた梅津瑞穂さんに抱負をお聞



きしま
した。



*ハンディキャブ運転を始めるとキツカケはどのようでしたか？
◆ハンディキャブ運転のことを以前から知っていたこと、余暇を有効に使いたいという思いが結びついたので。

*いつから活動を始められましたか？

◆昨年末に同行で一度活動しました。独り立ちからは1月から。車いすの方のお手伝いはこれからです。

*大変な活動ですが、心がけていることはありますか？

◆安全に目的まで送り届けることです。今は不慣れで緊張していますが、利用していただく方と楽しく会話が出来るとなりたいです。

*ほかにボランティアをなさっていますか？

◆今はハンディキャブ運転だけです。これから先のご活動に期待しています。ありがとうございます。(植野)

2月の記念日は？

小倉義男

2月28日、ビスケットの日。

パンの製法を学ぶため長崎に留学していた水戸藩の柴田方庵が、安政2年2月28日、同藩の萩信之助宛にパン・ビスケットの製法を書いた巻物「パン・ビスケット製法書」を送付。これが、ビスケットの製法を記した日本初の文書とされていることにちなんで、全国ビスケット協会が記念日に制定。

ちなみに、ビスケットはフランス語で bis : 二回、cuit : 焼くを組み合わせた造語とする説が有力だそうです。(小倉画)



Twitter

ぼらんていあ通信版 ツイッターコーナー

空を見上げる

おはろ 小原 美保

父は東北生まれで、よく「北国の春」を好んで歌っていた。お祭りのなるとねじりはまきを巻いてお神輿をかついだり、年末になると甘酒を作りお参りの人に振舞うのが毎年父の恒例でした。お酒を飲むのが大好きで、いつも父の周りにはたくさん仲間がいました

そんな父にガンがみつかり一生懸命治療していたが、8年たったある日から、徐々に体が弱っていった。

緩和病棟に入り家族それぞれの想いで父を毎日見舞って側にいた。兄が父の古くからの友人や父の大切に想っている姉に状態を伝えると次の日に見舞にきてくれた。父は布団をかぶり弱い所をみせなかった。

1、2時間自宅に戻る事ができた時一緒に畑をしていた仲間が病院に戻るのを見送ってくれた。父に見送っているのを伝えると、心配かけまいと介護タクシーで横になっていた父は左手を真上に力強く上げていた姿を思い出した。

それから数日後、さみしがりの父だったので家族が全員そろったのを待っていたように私と母が病室につき、声掛けることばらへたって息を引き取った。

緩和病棟に入る前、体が動いていた父は近所の方と農園の立ち上げに協力し、高齢者の方と楽しく過ごしていた。一人暮らしの方の家の植木や草刈りをすすんで行っていた。夫が亡くなり父みたいにはできないかもしれないが、人の助けをしようという気持ちが強くなり、ボランティアに登録させていた。

家族を守り続けた父、友人や近所の人達を大切にしていた父を想い会いたくて今も空を見上げ父を探している私がいる。

亡くなって3年たち姉の夢に父が現れ「俺は幸せだったよ」と言っていたと聞いた時、ホッとした気持ち、うれしい気持ちになった。



市内活動グループ訪問記

ボランテア
福祉事業所
ありす工房さんにお話を伺った



令和3年も残すとこの9日となった12月22日(木)特定非営利活動法人ほっこりありす工房さんへおじゃましました。

当日はお忙しい中、所長の長森さんにお話を伺いました。

*ありす工房について教えていただきました。

「おもに知的障がい者の方が通って日中活動の場所です。人数は男性の名、女性の名の計12名、職員7名のうち1日の名をボランティアで活動しています。利用者さんは、親が送迎したり、遠い方は東林間から電車、バスを乗り継いで通っています。

以前は陽光台におりましたが、建物が古く、手狭になったため、「横山」利用者さん、職員さんもそのまま移転してきました。あまり入れ替えもなく新しく入所してきた方もいますが、20年位通っている方もいます。自分で言うのもなんですが、家庭的に和気あいあいな雰囲気です。

きつと所長さん、職員さんの思いが利用者さんに通わる長く通って来られるのでしょひな。



所長の長森さん、入り口にはかわいい「ありす工房」の文字が！

*1日の流れは、

- 9時までに来所
- 9時から準備 9時半から朝の会、ラジカセット、その後10時から仕事に入ります



*主な活動は、

「はた織り」野菜の宅配です。はた織りは各々にはた織機がありますので、布を織り製品に仕立て販売。仕立てはここでできる物もあれば、有償ボランティアさんにお願ひもしています。

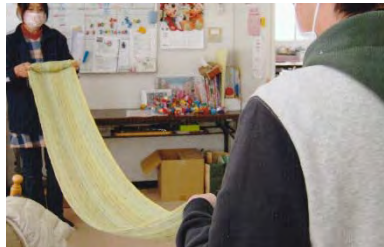
織り上がった布で何を作ろうかと考えたり、織る前に何を作ろうかと考え、デザインノートを参考にしたり、自分のイメージをひくらませ、職員のアドバイスも受けながら糸や色を選び織っていきます。

当日もマフラーの仕上げやバッグを作るための準備をしていました。

当日織り上がった布を見せていただきました。昨日から始めて今日織り上がったという4〜5m位ある布です。りんこの王林をイメージして織ったという布は、黄色とグリーンの色合いが絶妙でした。また、渋沢栄一をイメージしたという布も、まっくく藍染のような藍色に仕上がっていました。大きい布でも2日位で織り上げるなんてすごい集中力ですね。布はバッグ、マフラー、シヨール、ベスト、ポーチ、スマホケース等に仕立てられて、どれも細部までとても丁寧に作られています。製品はあじさい会館内のバオバブでも販売されています。



自分で配色を考えて織ります



一日でこんなに長く織る人も！

またSDG&と言われる前から、余った糸や捨てていた布で紐を織り、ネームカードの紐として使っていました。ちょっと前になりますが、カメラの紐として使われ雑誌にも載ったそうです。

利用者さんにお話を伺いました。「何を作りますか?」「バッグ」「はた織りはどうですか?」「難しいです」と手を休めることなく答えてくださいました。

野菜の宅配は、地元の家々から安心安全の有機野菜を仕入れ、仕分け、集計を職員さんと一緒にやり配達します。美味しいと評判だそうです。

*地域との交流は、

「ありす工房を夏と冬の年2回開催。夏は展示販売、はた織り体験を通じた交流を。冬は社会に出まじようという形で場所を借りてやっていますでしたが、中々場所を借りるのも難しく、工房で行っています。

他に相模大野アートクラブ市にも、福祉事業所としてではなく一般枠で利用者さんと一緒に参加されているそうです。楽しみにしているバス旅行も今は中止になっていますと残念な感じでした。

早く以前のような日常に戻ってきて欲しいですね。

(杉崎・小田)

*特定非営利活動法人ほっこりありす工房

所長 長森 知尚

TEL 0277-605422

相模原市中央区横山2-7-8

TEL/FAX 04277-605488



理事會報告

1月15日(土)開催理事7名

オブザーバー1名出席

【報告事項】

・「新成人を祝う会」1/16開催」に祝電を打った。

【各委員会報告】

△広報委員会△

・ぼら通部会

・ぼら通1月号1月24日印刷、25日発送。

・情報部会

協会ホームページを見やすく整理した。

△HC委員会△

HC運転手交流会の開催を検討。

△事務局委員会△

あじさい会館改修工事及び年末年始の対応について確認した。

△講座検討委員会△

春講座のチラシ配布先検討、夏講座の内容を検討。

△傾聴委員会△

オミクロン株流行に伴う感染予防策について。

【その他】

・ボウリング大会はオミクロン株流行に伴い感染拡大防止のため本年の開催を中止と決定。

【審議事項】

・市民桜まつりへの参加について審議。

・2022年度通常総会に向けての議事資料役割分担について。

・オミクロン株の動向に伴う協会活動の検討。

【次回理事會】

2月19日(土)10時より。



新春ボウリング大会は中止となりました

今年度の新春ボウリング大会は2月12日(土)開催予定で準備を進めていきましたが、新型コロナウイルスの感染が再拡大しつつあり第6波襲来の懸念があるため、止むを得ず中止させていただきました。誠に申し訳ありません。

昨年に引き続き2年続けての開催中止となり、楽しみにしていた方には大変残念な結果となりました。

相模原ボランティア協会 2月の予定

日	時間	内容
8(火)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
13(日)	10:00~	HC委員会
15(火)	14:00~	DVD制作実行委員会
19(土)	10:00~	定例理事会
	13:00~	事務局委員会
21(月)	9:30~	講座検討委員会
	13:00~	ぼら通2月号印刷
22(火)	13:00~	ぼら通2月号発行



「第8回 新成人を祝う会」が1月16日(日)にけやき会館で開催されました。

新成人の皆さまのご多幸と健康をお祈りし、ボランティア協会からは、祝電をお送りしました。

ご報告



令和4年相模原賀詞交換会
に出席して!

会長 高橋功

2022年1月5日(水)市民会館ホールで開催された相模原賀詞交換会に出席しました。日頃から市政の発展に尽力している本市関係者の皆さんを招いての賀詞交換会で、本村賢太郎市長や各議員さん方々のご挨拶に始まり、JAXA田中均宇宙科学研究所長や日本車いすテニスチーム中沢吉裕監督などのお話もあり、「コロナ禍のため飲食は伴わなかったが、新年のスタートとして、スッキリとした交換会だったと思います。」

田中均宇宙科学研究所長はイトカワや竜宮が持ち帰った岩石の話や、金星、火星、土星などへの探査計画、X線天文衛星などの計画について話されました。

日本車いすテニスチームの中沢吉裕監督からは、数年前までは世界の最下位に近かった日本チームを「このよ様な結果でも受け取り方次第で結果を恐れず楽しくプレーをする」(ミスしてもそれを楽しいに変えていく)と考え方を变えることになってオリンピックでの優勝に繋がっている事など興味深いお話が聞け、有意義な時間を共有できたと思います。



Part 1



「地域福祉協議会」見える化」を推進
若者向け情報発信を！

現在、相模原市社会福祉協議会（以下、社協）は
どんな所と聞かれても「答えられない人はいそん
に多くないだろう。本当は身近な存在であるべきな
のに、意外と知られていないのはなぜなのか。

昨年6月に社協の会長に就任された野野草さん
は、地域福祉のために職員の方々が懸命に努力し
ている姿を何とか市民の皆さんに知ってもらいた
めに、組織の「見える化」を進めたいと表明された。
そこで、社協と密接なつながりを持つ活動してい
るボランティア協会が、組織がどうなっているのか
まずは取材し、読者の皆さんにお伝えしようとい
月の日（木）あじさい会館4階社協事務局に다가
い、総務課の野沢さんと加藤さんに仕事内容につ
いてインタビューに応じてもらった。

高齢化が進み、人生100年時代と言われるよ
うになったが、同時に高齢者の孤立化や介護人不足
ヤングケアラーや子ども貧困など様々な問題が
顕著化してきている。



「写真撮ります」
一瞬マスクをはずしてもらい
ました。野沢さん（左）と加藤
さん



*最近、社協さんのありかたは変わってしまっ
たか？

★そうですね、各地区でボランティアを募集して
ニーズに答える仕組みが広まっています。ボラン
ティアセンターとしてボランティアをコーディネート
する人材の育成などの役割が求められます
ね。また、子どもの居場所づくりなど市内全域で
の取り組みも進めています。

*総務課の具体的な仕事内容が？

★若手の職員が中心となり、「社協のファンを増や
そう」と新しい活動が始まりました。子育て世
代や若い人に福祉情報が届きにくいという現状が
あったため、インスタグラムを開設し、写真や動
画を中心に情報を発信するよう努めています。

ライオンスタンプのデザインも職員自らが作成し、
職員やボランティア、学生が投票してスタンプを
選り販売しています。そのときのおあじだら…こ
うしたら…など意見やアイデアを出し合い、とて
も活発な雰囲気でした。フォロワーが増えるこ
とを期待しています。

*活動資金はどのようにして稼いでいるのですか？

★活動財源の確保も総務課の大きな仕事です。市か
らの助成金のみではなく、社協自らが集める財源
として、賛助会費と市民の方からの寄付があらま
す。

つまり社協は皆さんの善意で支えられているわけ
で、寄付をしてくれた人にサンクスレター（お金
の使い道を示してお礼を伝える）を届けるように
力をいれています。あとは赤い羽根共同募金で年
末にすけあい募金などです。

*集めたお金の使い道は？

★主に次のような活動です。

- ①小地域の支えあい活動の促進
- 22地区の社会福祉協議会が地域で孤立しがちな人が
社会とつながっていきけるように取り組む様々な支えあ
い活動を促進。
- ②市民による福祉活動の促進
- 市民福祉活動団体が取り組む「子ども食堂」や「無料学
習支援（塾）」などの子ども居場所への等を支援。
- ③福祉人材の育成
- ボランティアセミナーの開催や高等学校が取り組む福
祉活動の普及・啓発、小・中学生を対象とした福祉講座
の開催を支援。

もう少し具体的な使い道を知りたい方は、社協さんの
ホームページが広報誌「みんないっしょ」をご覧ください。
12月号に、あなたの言葉で「福祉マンガ」を完成さ
せよう！に応募した20人の年齢は結構幅広かったよう
です。

みなさんは、社協のマスコットキャラクター「こま
る」の好きな食べ物をご存じですか？ おむすび（人と人
を結び）と、バームクーヘン（年輪）なんですって！

（山崎）



*次号では、福祉推進課取材をさせていただきま
す。お楽しみ！

「にこまる」の LINE スタンプが登場 ☆

相模原市社協のマスコットキャラクター「にこまる」がLINE スタンプになりました！
「おはよう」「おつかれさまです」など、かわいくて便利なスタンプがいっぱい♪
スマートフォンをお持ちの皆様、ぜひご購入いただき、お使いください！！

☆右のQRコードを読み取っていただくと、LINE スタンプの販売画面に移動します。

金額は120円(50コイン)です。

☆下の画像はスタンプの例です。全部で40種類あります(^_^)



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp

事務局からの
お知らせ

“プロジェクターの貸出”

ボランティア協会では映像を活用しての会議・研修などを行うために、プロジェクター（キャノンLWX320）を購入しました。
皆さんの団体での会議・研修などで活用する機会がありましたら、ぜひお使いください。貸出のご希望がある場合は事前に事務局まで連絡いただき、予定を確認してください。

なお、接続して使用されるパソコンはご自分の団体でご用意ください。（2022年1月 事務局）



《今月のイラスト》

…冬の海を見て、

ちよこ(トコライノ)



山口尚美画

お詫びと訂正

ぼらんていあ通信12月号の1ページ中段16行目の古矢野様の漢字を間違えて掲載してしまいました。

(誤) 古谷野 (正) 古矢野

訂正してお詫びいたします。

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

<12月の寄付者>

9名の方からご寄付をいただきました。

<12月の寄付金>

総額 55,960円でした。



編集後記

元日に近くの神社でおみくじを引いたら「末吉」だった。

翌日、今年初のUFOキャッチャーにトライしたら、なんと1回でミッフィーのぬいぐるみをゲット。

その数日後、コープで買い物をしてペイペイで支払ったら、ペイペイボーナス3等(数十円)が当たった。

これで、今年の「末吉」を全部使い切ってしまったらいいかなと、今年年始早々、思案してゐる。

(恒)